

ここでは、子どもにとっても教師にとっても初のNIE授業ということで述べます。

1) 率先垂範—まず教師が新聞を購読しよう

当たり前のようにみえますが「購読」——買って読むことが大事です。NIEのための新聞は、読むだけではなく蛍光ペンで塗ったり、切ったりすることが多いからです。1紙を早く、ざっくりと、そしてじっくり読もう。社会面のように連日掲載される紙面もありますが、週1、2回掲載の紙面、掲載位置の変わる紙面もあります。紙面構成、掲載曜日などを把握しながら、新聞になじんでいくことです。

2) 記事の読み聞かせ

早く、ざっくりと読む(目を通す)のは、朝の会(朝の短学活)で子どもたちに読んで聞かせるためであり、朝、出勤前に行います。紙面に目を通しながら蛍光ペンで記事の候補を囲んでおきますが、最初は社会面と投書欄のなかから選ぶとよいです。また、記事は、拡大コピーして掲示板に貼っておきます。

3) 新聞に関する用語を知っておこう

題字、題字下、トップ記事、囲み記事、見出し、リード、本文、欄外などで、この連載の第57回(2013. 8. 2)に書かれていますので参考にしてください。

4) 新聞を読ませよう

まず一人ひとりに同じ新聞を配布し、以下のような問題を出してみます。学校でまとめて購入の場合、規定の用紙を使って申し込むと朝日新聞夕刊は1部25円、朝刊は40円で購入できます(<http://www.asahi.com/shimbun/nie/sdiscount.html>)。

①新聞の定価はいくら位か、紙面に書かれているだろうか。

②どの紙面にもあるものは何だろうか。

③1番大きい文字(漢字、平仮名、カタカナだけでなく、ローマ字、数字などなんでもよいです)を探そう、一番小さい文字を探そう。

④自分の名前を紙面の文字で作ってみよう。漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字などを混ぜてもよいですが、これだけで30分は掛かります。

⑤季節の写真、記事などを探そう。

新聞を使った授業は楽しいということを子どもたちに実感させるのが第一の目的です。

(鈴木伸男・全国新聞教育研究協議会顧問)